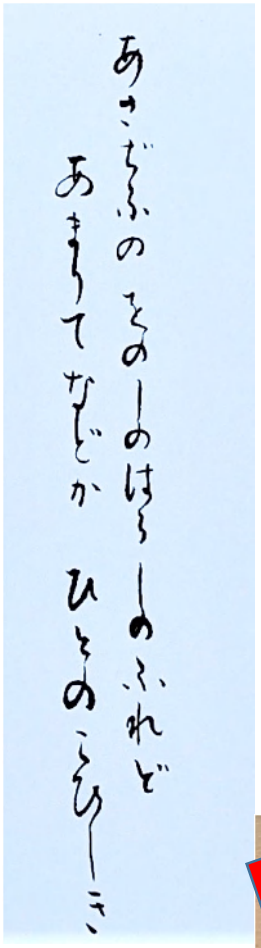
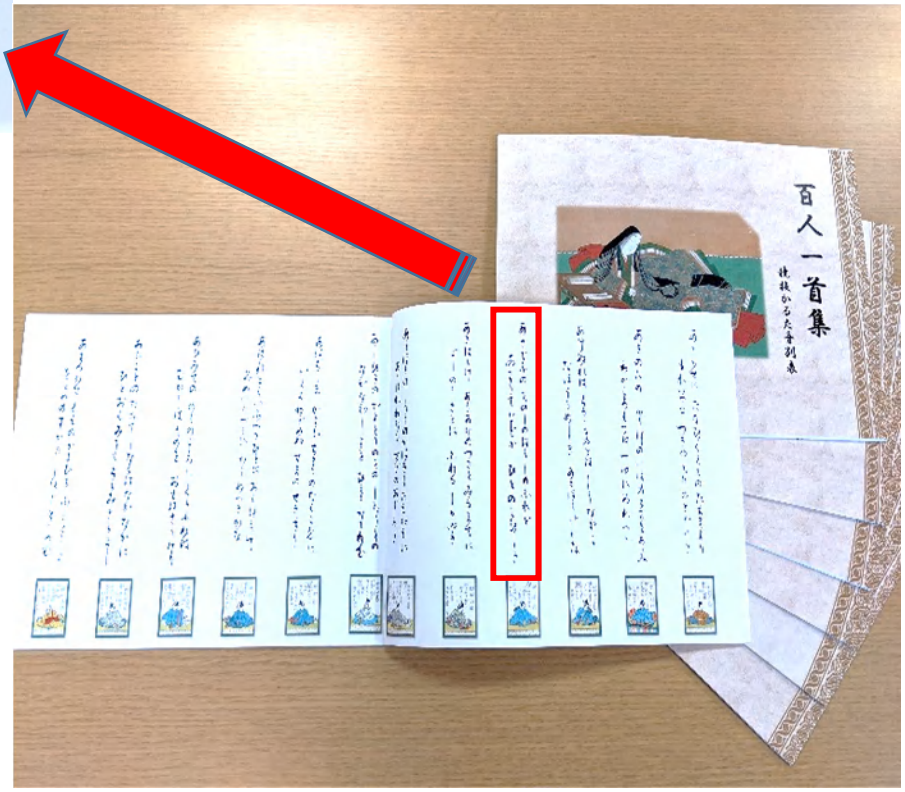
６月１５日（月）

陶町の安藤さんから
寄付していただきました



陶町にお住いの安藤友子さん（94 歳）が、書きためた百人一首をまとめた冊子 15 冊を瑞浪北中学校に寄付してくださいました。

上段には毛筆で書かれた和歌、下段には読み札の写真が載せられています。上段に書かれた和歌の筆跡には、ひらがなの特徴を見事に表現した流れるような美しさが表現されています。縦書き、活字の文字がほとんどの学校生活の中で、仮名の美しさを教えてくれる貴重な資料となることでしょう。

生徒たちにとっては、百人一首も身近な存在として映っています。年初めには百人一首大会が行われます。夏の一研究一作品では百人一首に取り組む生徒もいます。今回寄付していただいた冊子は、日本文化を学ぶときの参考となることでしょう。

和歌という文化、「百人一首」という文化、毛筆という文化、仮名文字という文化、それらを学ぶときに地域の方からの貴重な教材を積極的に活用していきます。